

あるべき姿(概ね30年後)

- 世界で最初の被爆地広島が、平和に関する資源が集まり平和のための活動が効果的に生み出される国際平和の拠点としての役割を果たし、核兵器のない平和な世界の実現に具体的に貢献していくことで、世界中の全ての人たちが、核兵器による脅威から解放され、安心して暮らしています。

目指す姿(5年後)

- 核兵器問題が人類及び地球全体の持続可能性に対する脅威であるという認識のもと、核兵器の存在を前提としない、新たな安全保障政策が策定されています。また、核兵器廃絶に向けた多国間枠組みに、核兵器国を含む全ての国が合意・参加し、核兵器廃絶の実現に向けた具体的な道筋が明らかになっています。
- 核兵器廃絶や平和構築に向けた取組を世界で実践できるよう広島で平和を学んだ将来を担う若い世代が、様々な形で平和を希求する活動に持続的に関わることで、世界中に共感の輪が広がり、国際社会に影響を与え、安心して暮らせる平和な世界の実現に貢献しています。
- 賛同者の拡大に伴い、平和に関する人材、知識・情報、資金などの資源が、国内外から、広島へ持続的に集積され、広島が、平和に関する諸課題を解決に導く国際平和拠点として世界中から認知され、平和への期待が集う場所としての役割を發揮しています。



指標

核兵器廃絶に向けた
国際的な合意形成

ビジョン策定時点 (R2)の現状値	現状値	5年後の目標値 (R12)
合意形成方策の 検討 (R2)	合意形成に向けた 働きかけを実施 (R6)	多国間枠組みに 核兵器国を含む 全ての国が参加

目標設定の考え方

核兵器廃絶のためには、核兵器国を含む全ての国連加盟国の参加が不可欠であり、そのためには、各国の合意形成を図る必要があることから、目標として設定した。

目指す姿の実現に当たって考慮すべき課題

- 安全保障環境が厳しさを増す中、核兵器に対する依存の高まりや国家間の分断が進行しており、核抑止に頼らない安全保障の在り方に関して議論することが一層困難になっています。このため、こうした中においても、引き続き、新たな安全保障政策の策定に向けた研究活動を継続・発展させていく必要があります。
- 令和6年の国連未来サミットにおいて、核兵器問題が地球規模で解決すべき課題の1つとして位置づけられたほか、核兵器問題と社会的諸課題とのつながりに着目して活動する若い世代によるグループも出現してきています。こうした中で、多国間枠組みである国連の次期開発目標に、核兵器問題が位置づけられるよう、各国政府への働きかけや多様な主体との連携を強化していく必要があります。
- 被爆の実相を伝えてきた被爆者の高齢化が進んでいる中においても、日本原水爆被害者団体協議会のノーベル平和賞受賞による核のタブーへの関心の高まりを追い風に、核兵器廃絶や平和構築を担う人材の育成に取り組む必要があります。
- 核兵器廃絶に向けた国際的な合意形成に向けた取組を持続可能なものにしていくためには、世界の多様な主体からの賛同を集めるとともに、平和に関する人材、知識・情報、資金などが集積する仕組みを整備する必要があります。



目指す姿の実現に向けた取組の方向

① 核兵器廃絶に向けた新たな政策づくりと多国間枠組みの形成

核兵器廃絶に向けて、ストックホルム国際平和研究所(SIPRI)や英国王立防衛安全保障研究所(RUSI)などの世界的な平和研究機関と連携し、核抑止に替わる新たな安全保障政策づくりを進め、その政策について各国の賛同を得ることにより、核兵器のない平和な世界の実現に向けた多国間枠組みの形成を図ります。

② 多国間枠組みの形成を目指した国際社会への働きかけと賛同者の拡大

国、国際機関、市民社会など多様な主体との協働や平和の担い手となる国際社会で活躍できる次世代人材の育成により、平和の取組への賛同者を拡大していくことで、多国間枠組みの形成に向けた理解促進と、核兵器廃絶に向けた国際的な機運醸成につなげていきます。

③ 広島が有する経験や資源を生かした次世代平和人材の育成

原子爆弾による徹底した破壊とその破壊からの復興を成し遂げた経験や平和と希望のシンボル性を生かして、ユニタール(国連訓練調査研究所)広島事務所、JICA(国際協力機構)中国センター、ひろしま国際センターなどの国際的な人材育成機関や、広島大学などの県内教育機関との連携により、国際社会において核兵器廃絶や平和構築に向けた取組を将来的に担う若い世代の人材育成を加速させます。

④ 持続可能な平和推進メカニズムの構築

経済界が企業活動を通じて平和へ関与していく機会の創出や、様々な主体の参画を促す情報発信機能の充実など、世界から人材、知識・情報、資金などの資源を集積した持続可能な平和推進メカニズムを構築し、国際的な平和研究機関をはじめ、各国政府、自治体、経済界やNGOなど、様々な主体と連携・協働することで、新たな安全保障の政策づくりや賛同者の拡大に取り組み、核兵器廃絶に向けた世界的な行動を推進します。

また、広島が国際平和拠点として期待される役割を発揮していくため、一般社団法人へいわ創造機構ひろしま(HOPe)とも連携して、平和に関する資源の集積機能や平和に関する諸課題を解決に導くための研究機能等を備えたセンター機能の確立に向けて、取り組みます。

重点項目に関する主な取組

- 核兵器廃絶と恒久平和に向けて、国際社会において核兵器廃絶や平和構築に向けた取組を将来的に担う若者の人材育成を進めます。

用語解説

NGO…Non-Governmental Organization の略。貧困、飢餓、環境などの世界的な問題に対して、政府や国際機関とは違う民間の立場から国境や民族、宗教の壁を越え、利益を目的とせずこれらの問題に取り組む団体。途上国の貧困問題に取り組む国際協力NGOや地球環境問題に取り組む環境NGO、平和協力や人権問題に関わるNGOなど関わる問題ごとに役割が異なる。

